

開催日：平成28年4月27日(水)

開催場所：附馬牛地区センター

出席者：男性 9名 女性 3名 計 12名

No.	市民からの意見、提言等	会場での回答の内容	その後の経過と取組
1	遠野ICから国道283号線に接続する部分を2車線にできないか。風の丘に行きやすくするために左側にもう1車線あれば良い。	風の丘への案内板が無いという話もあるので、それらも含めて要望として市に伝える。	市担当課へ伝達した。
2	デマンドバスについて、ある方から、たった一人だから遠慮して使わないという話を聞いた。	市内でデマンドバスが最初に運行された鷹鳥屋地区でも、当初は同様の状況があったが現在は改善されている実績がある。	
3	バイオマスエネルギーについて、現在木工団地や水光園で実証実験しているが、一般への拡張性はあるのか。また1㎡の木材からチップが何キロ出なのか。材料(燃料)が間に合わなくなるのでは。加えてトラクターももたないのではと思うが。	現在は林野庁100パーセント補助の事業で3年間の実証期間だ。公的施設のための計画であり規模的にも民間への導入は困難と見ていくようだ。チップ量やトラクターの疑問も当然だと思う。よって、実証実験を行ってデータ収集し、実用化の可否を調べている段階だと思う。	市担当課へ伝達した。平成29年度からは実態を検証し、成果を生み出すことが求められるので、その経過を注視していく。
4	ニホンジカの有害駆除において、聞いたところによると、市の猟友会では3人1組で射止めたシカにはお金が出るが、個人の場合はお金が出ないと聞いたが、把握しているか。	そのような話は聞いていない。実態を調べてから報告したい。	担当課からの聞き取りでは、そのような区別は無いとのこと。
5	震度7クラスの地震が連発しているのに鹿児島原発は稼働しているはおかしいのではないか。	原発について、稼働の条件をクリアしているからとは思いますが、議会では原発反対の要望書を国に提出している経緯はある。	
6	重湍溪の側溝の蓋は木で出来ているが、腐って危険なのでコンクリート製にしてほしい。	側溝だけでなくガードレールも木製で腐ってきており、県にも改善を要望中だ。	市担当課へ伝達した。
7	安居台から矢崎に抜ける市道に水たまりが多くさんある。山からなのか、土が流れて石が出ている。市長と語ろう会でも舗装するという話だったが、未だに実現していない。	以前から舗装計画があるが実現に至っていないのが現状。後日現地調査をし対応を協議したい。	市担当課へ伝達した。

No.	市民からの意見、提言等	会場での回答の内容	その後の経過と取組
8	石羽根に保管している汚染牧草について、近隣住民から風向きによって悪臭がすると苦情があった。	昨年9月末で市のゴミ焼却炉の稼働が終了したため、汚染牧草は再ラップして木工団地内と宮守町内の2か所に保管することになっており、こちらの牧草は無くなる予定だ。担当課にも話をし速やかに移動させるようにしたい。	再ラップ事業は完了し、保管場所は宮守と石羽根の2か所となった。周辺住民への影響がないか、引き続き注視していく。
9	荒川高原は観光地、水源地でもあるが、汚染牧草を直接埋めたという話を聞いた。環境上大丈夫なのか心配だ。	汚染牧草ではなく放射能レベルが高いため焼却処理できない汚染稲わらを市が埋めたものだが、防水シートを敷くなど適切な処置を施している。その後の経過は今後放射能の特別委員会で確認する。	安全性の問題が無いか、引き続き状況を確認していく。
10	荒川高原に馬の放牧を見ようと観光客が来てもトイレがなく不便だ。	管理上や環境上等の問題で逆に撤去されている例もあるが、市担当課に確認する。	元看視舎にトイレがあり、その使用の検討を求めている。
11	附馬牛小学校跡地は、いつまでにどのような工事をするか決まっているのか。	現在の校舎は築40年前後経っており、あのままでは使えない。解体して新たに保育園、児童館を新築する地域要望があるが、費用等の問題で実現には至っていないのが現状だ。	平成29年度において、保育園、児童館を整備することとなった。地元への説明は行われている。
12	各自治会や地区でLED化した防犯灯は、今後のメンテナンス費用も自治会や区で負担するようにとの話があるが把握しているか。本当なら考え方がおかしいのではないか。	詳細は把握していないが、市も現在市内全域の防犯灯LED化に向け、調査・準備中です。本日のご意見も市に伝える。	自治会等が設置した防犯灯は、市のメンテナンス対象に含まれていない。引き続き要望をして行く。